

情報連絡員だより

ー平成 26 年 12 月分の報告よりー

苦戦が続き、新政権の支援策に期待

業 種 / 景 況 天 気 図			概 況
全 体			ガソリン価格がやや下落したが、依然、原材料高や人手不足による人件費高騰で収益環境の悪化や消費税増前の駆け込み需要の反動減が続く。また、寒波で商店街は客足が遠のき、生花や野菜の出荷量も減少。年末需要に悪化傾向が見られ、安倍新政権が打ち出す中小企業支援策に期待。
製造業	食 料 品		パンはインフルエンザによる学級閉鎖の影響で、学校給食向けの売上悪化。菓子は昨年並みに推移。生・乾麺とも苦戦が続く中、年越しそばの動きは例年並み。酒造は純米酒、吟醸酒は昨年並みに推移、一方、本醸造酒、普通酒は落ち込む。
	繊維・同製品		婦人服地は2月の端境期まで昨年同様に推移する見通し。輸出向けは商談会等への積極的な参加を検討。伊勢崎織物は原材料高が続き採算面は厳しい状況の中、京都の「移動販売会」では動きが見られたが先行き不透明。繊維製品は、業績悪化による組合脱退が数社見られ厳しい状態。
	窯業・土石製品		生コンの出荷量は、前橋、高崎で大型物件がなく全体的に減少。コンクリートブロックは、秋口から需要が減少し、今後厳しさが増す予感。コンクリート製品は、前年並みの水準に近づきつつある。砕石は、地域差が見られるが、販売価格は上昇傾向で在庫数量は減少し好転基調。
	機 械 ・ 金 属		鍍金は、電気料金等の上昇に苦しむ中、業況は「良好」「悪化」が二分。輸出製品は好調で、生産量の増加が見られるが製造経費の上昇で収益状況の改善はみられない。富士重工業関連は販売好調を背景に操業度上昇するも、2年後の北米への生産移転を考えると楽観視できない状況。
	その他の製造業		製材は製品単価下落、仕入単価上昇の中、原料不足で設備操業度低下。印刷業は売上減少の中、原材料値上げで収益は悪化傾向、受注の不安定さや企業間格差が見られる。ゴム製品の受注は企業間でまだら模様。紙加工品は受注量が悪化し、新規受注については競争激化。
非製造業	卸 売 業		食品関連は昨年並みに推移、繊維関連は依然低調、金型用鋼材の受注が減少するなど円安による影響を懸念。農産物卸は前年並みに推移したが、みかんが品薄状態でやや高め。水産物卸は、年末商戦が期待外れで低調。
	小 売 業		家電小売は駆け込み需要の反動減で売上悪化。中古車オークションは落札価格が僅かに上昇。ガソリン小売は、大幅な原油安で販売価格が前月比12～13円/ℓ程度下落。商店街は寒波で客足が悪く、歳末セールは盛り上りに欠け、お歳暮の売上も悪化。生花店は寒波で品薄状態が続き苦戦。
	サ ー ビ ス 業		温泉旅館は、雪の悪影響は少なく例年の入込。不動産取引業は、太田市域が富士重工業関連の業績向上に伴い取引良好、小規模開発が積極的に行われ新築住宅の建設が目立つ。建物設計業は、改正建築士法施行で経営安定化や後継者育成強化を期待。自動車整備は整備需要が低下し売上減少。
	建 設 業		建築工事は新政権の経済対策に伴い、公共工事予算削減を不安視。電気工事業は作業員不足が続く中、求人に苦慮。塗装工事業は、職人不足等の要因で工期延長が発生、一部で元請に対して経費増加交渉を行う事業所を散見。鉄構業は、仕事量に一服感がみられる。
	運 輸 業		輸出関連は好調だが全体的に荷動きは低調、消費税増前の駆け込み需要の反動減が続く。日配品輸送では運転手不足が散見。軽油価格は前月に続き値下がり傾向で適正価格に近づいた。小口輸送は、前月に続き、自動車部品・家電関連のチャーター依頼で売上増加。